

おりひめちゃんが行く!

交野戦国絵巻

七の巻

問い合わせ 社会教育課文化財係 (TEL 893・8111)



石清水八幡宮と交野

京都府八幡市にある石清水八幡宮は、武運の神を祀る日本三大八幡宮の一つで、平安時代から、交野の大半を治めていました。

石清水八幡宮では、例年9月15日に、捕えられた鳥や魚を野に返し、生き物の殺生を戒める「放生会」という行事が平安時代から行われてきました。現在も「石清水祭」として行われているこの行事には、古くから私市や森に住む「神人」も参加してきました。神人とは、石清水八幡宮のもとでさまざまな役職を務める人のことです。

市指定文化財「石清水八幡宮放生会絵巻」(下図)は、森南地区に伝わる、江戸時代の放生会の様子を記録したもので、この中には交野の神人も描かれています。私市地区の「御前弘神人」は行列を警護する役で、森地区の「火長神人」は、赤く大きな提灯を持って行列を彩っています。



おりひめちゃんの歴史コラム

伝統の「神人」

戦国時代、石清水八幡宮に対抗する勢力が交野に現れます。私部で栄えた光通寺と、星田を治めていた安見右近、その跡を引き継いだ安見新七郎がその代表格です。

しかし、そんな時代にも神人の伝統は途切れることなく続き、神人は、現在も私市地区と森地区に暮らしています。石清水祭の際は、衣装を身に付け、石清水八幡宮に集まります。その姿が、絵巻に描かれた姿とほとんど変わらないことに驚かされます。



企画展「交野市の指定文化財」

「石清水八幡宮放生会絵巻」も公開します。ぜひお越しください。

とき 11月5日(水)～27年1月18日(日) 午前10時～午後5時(入室は午後4時30分まで)

※月・火曜日、祝日は休館

ところ 教育文化会館(歴史民俗資料展示室)

主な展示品 石清水八幡宮放生会絵巻、交野東車塚古墳出土遺物、阿弥陀如来立像



広報かたの編集と発行

No.749

交野市役所総務部情報課 〒576-8501 大阪府交野市私部1丁目1番1号
TEL 072-892-0121 FAX 072-891-5046 テレホンサービス 072-892-1599

発行：2014年10月1日